



PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成21年2月25日
岡山大学

個別学力検査 理科「生物Ⅰ・生物Ⅱ」解答用紙の誤りについて

概要：本日、岡山大学において実施しました個別学力検査のうち、理科「生物Ⅰ・生物Ⅱ」の解答用紙において、誤りがありましたので、お知らせいたします。この誤りに関係する解答については、全員を正答として取り扱うこととして、受験生に不利にならないよう配慮いたします。

- 試験時間 13:00～14:00（理科一科目選択）
13:00～15:00（理科二科目選択）
- 理科 生物Ⅰ・Ⅱの問題第3問 問1 解答用紙の項目欄に誤りが見つかりました。
誤 第二分裂前期
正 第二分裂中期
- 14時29分に受験生から、指摘があり判明しましたが、理科一科目の試験室ではすでに試験が終了していたこと、及び理科二科目選択の試験室では試験終了時間が迫っていたため、受験生に対し訂正の措置はとりませんでした。

試験実施本部で次のとおり対応策を決定しました。

対応策 全員正解とし、受験生に不利にならないよう配慮いたしました。

※理科は、「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」、「生物Ⅰ・生物Ⅱ」又は「地学Ⅰ・地学Ⅱ」の中から、各学科の指定に合わせて、1科目、又は2科目を選択して受験する仕組みとしております。「生物Ⅰ・生物Ⅱ」の受験者数については、現在、集計中であり、判明し次第お知らせいたします。

<お問い合わせ>

岡山大学総務企画部・総務課
総務課長 菅原
(電話番号) 086-251-7003
(FAX番号) 086-251-7294

第3問

次の文章を読み、問1～問3に答えよ。

ヒトやマウスでは、形成直後の精巣や卵巣に存在する始原生殖細胞は、体細胞分裂をくり返し、それぞれ精原細胞や卵原細胞になる。その後、精子や卵がつけられる過程で染色体の本数が半減する(a)。減数分裂の第二分裂中期の段階で二次卵母細胞は、卵巣から排卵(b)され、精子が侵入すると分裂を再開して卵になる。その後、卵の核と精子由来の核が合体して受精が完了し、接合子となり、細胞分裂をくり返して新たな個体が発生する。

一方、増殖性の体細胞は、細胞分裂を周期的にくり返している。最近、ヒツジやウシ、マウスなどで、染色体を除去した未受精卵(第二分裂中期にある二次卵母細胞)に増殖性体細胞の核を移植することで、個体発生に成功(c)した例が報告されている。このようにして誕生した個体は、核を提供した個体と同じ遺伝情報をもつことから、クローン動物とみなすことができる。

問1 下線部(a)に関連して、一次精母細胞から精子が形成される過程のそれぞれの段階における染色体数と染色体に含まれるDNA量を解答用紙の空欄に記入して表を完成せよ。ただし、精子内に含まれる染色体数とDNA量をそれぞれ $1n$ および $1C$ とし、ミトコンドリアに含まれるDNAは考慮しないものとする。

	染色体数	DNA量
第一分裂前期の一次精母細胞		
第一分裂中期の一次精母細胞		
第二分裂中期の二次精母細胞		
精子	$1n$	$1C$

受験 番号									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--

AI	3	3	0	4
----	---	---	---	---

(受験番号はていねいに記入すること)

受験 番号									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成21年度 生物I・生物II 解答用紙 (その4)

第3問

問1

	染色体数	DNA量
第一分裂前期の一次精母細胞		
第一分裂中期の一次精母細胞		
第二分裂前期の二次精母細胞		
精子	$1n$	$1C$

問2

(1)

--

(2)

--

--

(3)

--

--

--

--

問3

(1)

(2)

移植した体細胞核	第一卵割直後の各細胞中の DNA 量
細胞分裂直前の体細胞核	
細胞分裂直後の体細胞核	

(3)

--